

授業とつながる個別教育計画

－ 個別教育計画に基づいた個別カリキュラムの検証・開発 中間報告

磯崎 洋二¹ 立脇 寛人²

「個別教育計画」と実際の授業や生活場面での指導との関連をより持たせるための手だてとして、「個別教育計画」の短期目標から週単位あるいは指導の単元単位などでの達成可能な具体的な目標を策定し、さらに指導の手だてを明らかにする様式を2種類試作した。

はじめに

学習指導要領の改訂により、「自立活動」の指導および重複障害児に「個別の指導計画」の作成が義務づけられ、平成12年度から実施されている。

県教育委員会では、学習指導要領改訂前から「個別教育計画」の作成を各校に促していた。「個別教育計画」は「個別の指導計画」を含むより大きい教育計画であると、県教育委員会により整理されている。

各校で「個別教育計画」への取組が進むことにより、「個別教育計画」に関する課題は、当初の「どのような書式がよいか」や「どのような流れで作成するか」から、「作成した個別教育計画を日々の授業に生かすためにはどのようにするか」や「校内外の他職種との連携ツールとするためにはどのようにしていくか」ということに移行しつつある。

「個別教育計画」を「校内外の他職種との連携ツールとするためにはどのようにしていくか」ということに関しては、「個別教育計画を軸としたチームアプローチ研究」を別途実施している。

そこで、この研究では、「作成した個別教育計画を日々の授業に生かすためにはどのようなことが必要か」ということを探ることに焦点をあて、研究を進めることとした。

研究内容

収集した個別教育計画書式や調査研究協力員所属校の個別教育計画書式等をもとに、日々の授業と個別教育計画をつなぐためには、書式として、システムとしてどのような工夫が必要かなどを検討した。概要は次の通り。

- ・短期目標は学期あるいは半年をスパンとするものがほとんどで、日々の授業や指導場面での目標と

するには大きすぎる。

- ・実態把握の項目毎の短期目標があっても、具体的な授業や指導場面での短期目標が書かれていない場合は、短期目標と具体的な場面での目標との関連が不明確。
- ・目標や指導の手だてを見直すためには日々の記録の工夫が重要。
- ・短期目標を達成すれば、その都度書き換えるシステムとしているが、書き換える人は少ない。
- ・日々の授業などで個別の目標をより意識するためには、作成した目標を意識しやすくするシステムが必要である。

これらを受け、短期目標と日々の授業や生活場面での指導との関連をより持たせるために、週単位あるいは指導の単元単位などで、個別の目標と指導の手だてをより明らかにするためのものを作成する必要があるとなった。そこで、そのための手だてとして、2種類の様式を（第1図「A様式・B様式」）試作した。これらは、週単位あるいは指導の単元単位などで短期目標をより具体的に達成可能な目標とし、一定の様式に書き出すことにより、個別の目標と指導の手だてを明らかにするものである。また、日々の記録の一助にもなるよう工夫して試作した。

A様式は、教科や生活場面単位である単元（期間）毎に個別に具体的な目標を決め、その達成のための手だてを記し、結果をその都度記録するものである。

B様式は、個人別の週案である。週単位で具体的な場面における目標、その達成のための手だてを記し、その結果を週単位で記録するものである。

これらの様式は、どちらかを選択して使ったり、両者を組み合わせて使うことも考えられる。さらに、これらを基に学級や学部単位で実状に合わせて新たな様式を工夫することも考えられる。

また、これらの様式を実際に使用する時、紙に印刷し筆記具で記入することは、実務的に労力も大きいものになる。しかし、ワープロソフトなどを利用して作成すれば、毎回（週）の作成する際の労力の省力化や

1 人材育成課 研修指導主事（兼）指導主事

2 人材育成課 研修指導主事（兼）指導主事

第1図「A様式・B様式」

A様式(単元・題材・場面別個人目標) (実際はA 4 or B 4の横、1枚に収まりきれない場合は2枚も可)			
教科名や時間割上の名称[音楽] 単元・題材名[合唱コンクールに向けて] 全体時数あるいは期間[12時間]			
単元のねらい	各学年の課題曲と各学級の自由曲を練習して、歌詞を覚え、メロディーをできるだけ正しい音程で歌う		期間の場合は最高でも1ヶ月程度、単元の時間数が丸2ヶ月に渡るようだったら、途中で目標や手だての見直しに努める。
計画と時数	課題曲を中心に 5H、自由曲を中心に 5H、並び方と全体合唱も含めて 2H		
氏名	単元・題材での個人目標	具体的手だて	目標に対する評価(、、、×)
A	机に伏せずに参加する。	背中や肩に触れたり、声をかけて注意を喚起する	11/10、11/4×、11/7、
	顔を上げて大人と一緒に周囲の人の歌声を聞く	曲のリズムに合わせて、本人と一緒に体を動かす	11/10、11/4、11/7、
B	歌詞をしっかりと覚える	Bさんが読みやすい歌詞カードを作り、それをみながら練習する。	11/10、11/4、11/7、
C			
目標は、短期目標にそったその単元での、具体的な目標を1つ~2つ書く。		手だては、目標を達成させるための具体的な方法を簡潔に書く。	実施日の後ろに記号で評価をつける。評価で特に記録しておきたいことは、別紙(特に様式無し)を用意し自由記述で記述する。
評価： 簡単にできる、 ほぼ確実、 不安定・芽生え、 ×まったくできない。			

B様式(個人別週別個人目標) (実際はA 4 or B 4の横、1枚に収まりきれない場合は2枚も可)			
年度 年 氏名 x x 年 月 日 ~ x 日(二週間も可)			
重点目標： 個別教育計画で重点目標を立てていない場合は、省略も可。			
場面	目標	具体的手だて	評価(、、、×)
係活動	保健カードを渡されたら、保健室に一人で届けることができるようになる。	保健カードを手に持たせ、一緒に保健室へ行く。はじめは誘導するが、だんだん本人を先に歩かせるようにする。	月 火 水×木 金
体力作り・体育	近くから投げられたビーチボールを受け取れる。	1M程度離れたところからはじめ、受け取れたら距離を少しずつ長くする。	月 火 水 木 金
	トランポリンで順番が待てる。	乗る順番に並んで待たせる。待つ場所にフープを置いて待つ場所を明確にする。	水
かず	10の分解を具体物を使い一人で数えて答えを求める	はじめは一緒に声を出し数えるが、だんだん一人で数えられるようにする。	月 火 木 金
給食	牛乳を一人に一本の組合わせで配膳する。	牛乳を置く場所にマークをつけ、その上に牛乳を置くようにさせる。	月 火 水 木 金
場面欄には、場面以外の項目の記入も可である(例えばコミュニケーションなど)が、その場合はどの場面で主に意識して実施するのかを具体的手だてに記述する。		評価で特に記録しておきたいことは、別紙(特に様式無し)を用意し自由記述で記述する。週に1回のもののように欄に余裕があれば一言も可。	
目標は、短期目標にそったその場面での、具体的な目標を1つ~2つ書く。		手だては、目標を達成させるための具体的な方法を簡潔に書く。	
評価： 簡単にできる、 ほぼ確実、 不安定・芽生え、 ×まったくできない。			

両様式ともゴシック体は、書式での項目名など。斜字体は、記入例。

途中での書き加えが簡便に行えるなどのメリットが大きい。共通のワープロソフトなどを利用して作成するなど電子メディアの利用が必須となるであろう。ここでは、そのことを前提としてこれらの様式を作成した。今年度は、先に述べた様式の試作を行った。次年度は、実際にこれらの様式を使い、その上で様式の手直しを図っていくとともに、各県立盲・ろう・養護学校の個別教育計画活用状況を日々の授業との関連で調査研究していきたい。

[調査研究協力員]

厚木市立愛甲小学校 岩井 富喜子
津久井町立中野中学校 松本 幸子
県立伊勢原養護学校 山本 みどり
県立平塚養護学校 橋爪 秀記

[教育指導員]

東塚 徹

参考文献

神奈川県教育委員会 2001 「盲学校、聾学校及び養護学校幼稚部、小学部及び中学部教育課程編成のために Q & A」